

整理番号 K-1265 (NEDO306, 2-0300)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
N-メチルジエタノールアミン (105-59-9)	指示 8年 5月 13日	指示 年 月 日	指示 年 月 日
	試験期間 9. 4. 1~ 9. 6. 10	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  $\begin{array}{c} \text{CH}_2\text{CH}_2\text{OH} \\   \\ \text{H}_3\text{C}-\text{N} \\   \\ \text{CH}_2\text{CH}_2\text{OH} \end{array}$ 分子式 C <sub>5</sub> H <sub>13</sub> NO <sub>2</sub> 分子量 119.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
間接	BOD 22, 0, 0 (7%)	間接	
直接	TOC 60, 5, 5 (23%)	直接	
	HPLC 65, 6, 4 (25%)	直接	
純度*1 99.6%	外観 無色透明液体		
不純物*1 (物質名, 含有率)	溶解度 (対水, その他)	判定部会 第225回	判定部会 第 回
水分 0.33%	対水 100 g/L 以上	9年 7月 30日開催	年 月 日開催
融点 -10℃以下		判定 難分解性	判定
沸点*2 246~248℃	1-オクタノール/水分配係数	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・開始時に pH 調整を行った。 ・分解生成物の残留は認められなかった。	備考
比重*1 d <sub>4</sub> <sup>20</sup> 1.039	log Pow <0.5 (pH9.6) (HPLC法)		
LD50*2 4,780mg/kg (oral, rat)	解離定数*4 pKa = 8.52		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*3 ウレタンコーティングの触媒、繊維助剤、染料、殺虫剤、殺菌剤、乳化剤、鎮痛剤			
生産量 (13年) *5 製造及び輸入 100~1,000 t 未満			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 和光純薬工業添付資料による。 \*2 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data による。 \*3 14705 の化学商品 (化学工業日報社) による。

\*4 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation) による。 \*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験		
事業対象年度 平成16年度												依 頼	年月日	
試験期間 17. 3. 8 ~ 17. 4. 19						試験期間 . . . ~ . . .							経過	
試験装置 標・揮			LC50値 mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮			LC50値 mg/L( hr)魚種( )					
水槽設定濃度 ( )						水槽設定濃度 ( )								
被験物質		分散剤				被験物質		分散剤						
第1濃度区						第1濃度区								
第2濃度区						第2濃度区								
第3濃度区						第3濃度区								
濃縮倍率		脂質含有率		開始前 終了後		濃縮倍率		脂質含有率		開始前 終了後		% 魚種( )		
		日後	日後	日後	日後			日後	日後	日後	日後	日後		
第1	水槽濃度 ( )					第1	水槽濃度 ( )							
	倍率						倍率							
第2	水槽濃度 ( )					第2	水槽濃度 ( )							
	倍率						倍率							
第3	水槽濃度 ( )					第3	水槽濃度 ( )							
	倍率						倍率							
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催								
判定結果						判定結果								
備考						備考								
分配係数から類推														
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構														

整理番号 K-1278 (NEDO310, 2-1003)	分解度試験	備考																													
トリアクリル酸ペンタエリトリトール (3524-68-3)	指示 8年 5月 13日	<p>3.特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BODの算出は組成式による。</li> <li>・入手試料は(汚泥+被験物質)系において変化し、モノアクリル酸ペンタエリトリトール(2-1002)、ペンタエリトリトール(2-0248, K-68, S50. 10. 27(17)難分解性、S51. 7. 22(25)高濃縮性ではない)、及びアクリル酸(2-0984, K-32, S49. 10. 28(7)良分解性)を生成した。アクリル酸は分解し、被験物質、不純物のジアクリル酸ペンタエリトリトール、トリアクリル酸ペンタエリトリトールモノカルバルデヒド及び変化物のモノアクリル酸ペンタエリトリトール、ペンタエリトリトールは残留した。</li> <li>・逆転条件(開放系)試験結果(4週間)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">分解度(%)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOC</td> <td>60</td> <td>56</td> <td>60</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>HPLC</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <th colspan="5">ペンタエリトリトールの生成率(%)</th> </tr> <tr> <td>HPLC</td> <td>32</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>(培養期間 10. 10. 2~10. 10. 30)</p>		分解度(%)				1	2	3	平均	TOC	60	56	60	59	HPLC	100	100	100	100	ペンタエリトリトールの生成率(%)					HPLC	32	35	39	36
	分解度(%)																														
	1		2	3	平均																										
TOC	60		56	60	59																										
HPLC	100		100	100	100																										
ペンタエリトリトールの生成率(%)																															
HPLC	32		35	39	36																										
	試験期間 10. 10. 22~11. 3. 18																														
	試験装置 (標) ・ 揮																														
構造式(示性式) ・ 物理化学的性状 	試験濃度																														
	有機物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L																														
分子式 C <sub>14</sub> H <sub>18</sub> O <sub>7</sub> 分子量 298.29 組成式 C <sub>2.10</sub> H <sub>2.69</sub> O <sub>1.00</sub>	本試験期間 4週間																														
純度*1 10.6% 外観 無色透明液体	試験結果 間接 BOD 17, 6, 12 (12)% 直接 HPLC 95, 76, 83 (85)%																														
不純物*1 (物質名, 含有率) テトラアクリル酸ペンタエリトリトール(2-2578) 39.4% 被験物質の二量体 8.0% トリアクリル酸ペンタエリトリトールモノカルバルデヒド 16.6% 残り 25.4%中にジアクリル酸ペンタエリトリトールモノカルバルデヒド、被験物質の三量体及び構造不明の不純物を含む。																															
融点 -50℃以下 溶解度(対水, その他) 対水 変化のため測定不可 対アセトニトリル 10 g/L以上 対メタノール 2.1g/L以上	判定部会 第242回 11年 4月27日開催																														
沸点 変化のため測定不可	判定 難分解性																														
比重*2 d <sub>4</sub> <sup>20</sup> 1.168	備考																														
LD <sub>50</sub> *3 2,460 mg/kg(oral, rat) 4,000 mg/kg(skin, rabbit)	1.回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%																														
IRチャートの有無 (有) ・ 無	※試験液をアセトニトリルで希釈して分析機器に導入。																														
用途*4 光硬化反応性希釈剤、塗料、接着剤、ゴム、樹脂などの改質剤、架橋剤	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構																														
生産量(13年)*5 製造及び輸入 100~1,000 t未滿																															
試料 購入先 Fluka chemie AG																															
経済産業公報発表年月日 年 月 日																															

\*1 HPLC及びLC-MSによる。 \*2 Fluka chemie AG添付資料による。 \*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。

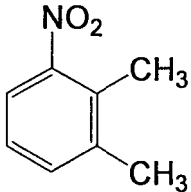
\*4 14705の化学商品(化学工業日報社)による。 \*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					事業対象年度					平成16年度					濃縮度試験					毒性試験				
試験期間					17. 3. 4 ~ 17. 4. 26					試験期間					. . . ~ . . .					年月日				
試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr)魚種( )					依 頼  経過				
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )														
		被験物質			分散剤							被験物質			分散剤									
第1濃度区										第1濃度区														
第2濃度区										第2濃度区														
第3濃度区										第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前 終了後					濃縮倍率		脂質含有率			開始前 終了後									
		日後			日後							日後			日後									
第1	水槽濃度 ( )										第1	水槽濃度 ( )												
	倍率											倍率												
第2	水槽濃度 ( )										第2	水槽濃度 ( )												
	倍率											倍率												
第3	水槽濃度 ( )										第3	水槽濃度 ( )												
	倍率											倍率												
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果										判定結果														
備考										備考														
分配係数から類推 (被験物質のlog Powは1.1。モノアクリル酸ペンタ エリトリトールは被験物質より極性が高い。ペン タエリトリトールは高濃縮性でない判定済み。)																								
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																								

整理番号 K-1379 (NEDO307, 2-0147)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
N-メチルーN,N-ビス(2-ジメチルアミノエチル)アミン	指示 11年 4月 30日	指示 年 月 日	指示 年 月 日
(3030-47-5)	試験期間 12. 4. 11~12. 6. 12	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  $  \begin{array}{c}  \text{H}_3\text{C} \quad \quad \quad \text{CH}_3 \\  \diagdown \quad \quad \quad / \\  \text{NCH}_2\text{CH}_2\text{NCH}_2\text{CH}_2\text{N} \\  / \quad \quad \quad \diagdown \\  \text{H}_3\text{C} \quad \quad \quad \text{CH}_3  \end{array}  $ 分子式 C <sub>9</sub> H <sub>23</sub> N <sub>3</sub> 分子量 173.30	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
間接	BOD 0, 0, 0 (0)%	間接	
直接	TOC 0, 0, 1 (0)%	直接	
	GC 0, 1, 1 (1)%		
純度*1 99.5%	外観 微黄色透明液体	判定部会 第255回	判定部会 第 回
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.14% 残り 0.36%については不明	溶解度 (対水, その他) 対水 100 g/L 以上 対1-オクタノール 4 g/L 以上 (25℃)	12年 7月26日開催	年 月 日開催
融点*2 -20℃		判定 難分解性	判定
沸点*2 198℃	1-オクタノール/水分係数 log Pow = 0.04 (pH12) (フラスコ振とう法)	備考	備考
密度*1 0.828 g/cm <sup>3</sup> (20℃)		1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%	
LD <sub>50</sub> *2 1,630 mg/kg (oral, rat) 280 mg/kg (skin, rabbit)	解離定数*3 pKa1 = 9.35 pKa2 = 8.12 pKa3 = 2.73	※試験液を直接分析機器に導入。	
IRチャートの有無 (有) ・ 無		2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
用途*4 ポリウレタン重合用触媒、医農薬中間体、各種合成触媒		3. 特記事項 ・開始時に pH 調整を行った。	
生産量 (13年) *5 製造及び輸入 100~1,000 t 未満			
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 和光純薬工業添付資料による。 \*2 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。  
 \*3 G. Gelbard and P. Rumpf, Bull. Soc. Chim. France 1969, 2120による。 \*4 14705の化学商品 (化学工業日報社) による。  
 \*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験					毒性試験 年月日	
試験期間					17. 3. 2 ~ 17. 4. 12					試験期間						
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			水槽設定濃度 ( )		水槽設定濃度 ( )		經過		
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤									
第1濃度区					第1濃度区											
第2濃度区					第2濃度区											
第3濃度区					第3濃度区											
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )									
		日後 日後 日後 日後 日後					日後 日後 日後 日後 日後									
第1	水槽濃度( )				第1	水槽濃度( )										
	倍率					倍率										
第2	水槽濃度( )				第2	水槽濃度( )										
	倍率					倍率										
第3	水槽濃度( )				第3	水槽濃度( )										
	倍率					倍率										
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催											
判定結果					判定結果											
備考					備考											
分配係数から類推																
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																

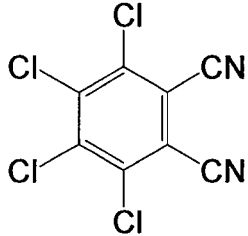
整理番号 K-1450 (NEDO309, 3-0399)		分解度試験		分解度試験		分解度試験				
2, 3-ジメチルニトロベンゼン		指示	11年 4月 30日	指示	年 月 日	指示	年 月 日			
(83-41-0)		試験期間	12.11. 2~13. 2.26	試験期間	. . . ~ . . .	試験期間	. . . ~ . . .			
		試験装置	㊦・揮	試験装置	標・揮	試験装置	標・揮			
構造式 (示性式) ・物理化学的性状    分子式 C <sub>8</sub> H <sub>9</sub> NO <sub>2</sub> 分子量 151.16		試験濃度		試験濃度		試験濃度				
		被験物質		100 mg/L	被験物質		mg/L	被験物質		mg/L
		汚泥		30 mg/L	汚泥		mg/L	汚泥		mg/L
		本試験期間		4 週間	本試験期間		週間	本試験期間		週間
		試験結果	間接	BOD	0, 0, 0 (0)%	試験結果	間接		試験結果	間接
直接	HPLC		0, 0, 0 (0)%	直接			直接			
純度*1 99.8%	外観	淡黄色透明液体								
不純物*1(物質名, 含有率) 水分 0.01% 残り 0.19%は不明	溶解度 (対水, その他)	審査部会 第 2 回 13年 3月 27日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催				
融点*2 7~9°C	対水 180 mg/L (25°C) 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対1-オクタノール 1 g/L 以上	判定 難分解性		判定		判定				
沸点*2 245°C	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.85 (フラスコ振とう法)	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。  2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		備考		備考				
密度*1 1.141 g/cm <sup>3</sup> (20°C)										
LD50	解離定数									
IRチャートの有無 (有)・無	解離基なし									
用途										
生産量 (年)										
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級										
経済産業公報発表年月日	年 月 日									

\*1 和光純薬工業添付資料による。

\*2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets(11/1998-1/1999)による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験					毒性試験						
試験期間					17. 2. 18 ~ 17. 3. 4					試験期間					年月日						
試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr)魚種( )						
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )											
被験物質					分散剤					被験物質					分散剤						
第1濃度区										第1濃度区											
第2濃度区										第2濃度区											
第3濃度区										第3濃度区											
濃縮倍率					脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種( )					濃縮倍率					脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種( )						
					日後 日後 日後 日後 日後										日後 日後 日後 日後 日後						
第1	水槽濃度( )										第1	水槽濃度( )									
	倍率											倍率									
第2	水槽濃度( )										第2	水槽濃度( )									
	倍率											倍率									
第3	水槽濃度( )										第3	水槽濃度( )									
	倍率											倍率									
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催											
判定結果										判定結果											
備考					分配係数から類推					備考											
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																					



整理番号 K-1481 (NEDO302, 3-1783)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
テトラクロロフタロジニトリル	指示 11年 4月 30日	指示 年 月 日	指示 年 月 日
[テトラクロロフタロジニトリルにて試験実施]	試験期間 12. 3. 21~12. 5. 15	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
(1953-99-7)	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>8</sub> Cl <sub>4</sub> N <sub>2</sub> 分子量 265.91	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 2, 0, 0 (1%)	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC 0, 0, 0 (0%)	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 98%	外観 白色粉末	判定部会 第254回 12年 6月21日開催	判定部会 第 回 年 月 日開催
不純物 (物質名, 含有率) 残り 2%については不明	溶解度 (対水, その他) 対水 10 mg/L 以下 対酢酸エチル 10 g/L 以上 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対1-オクタノール 1000 mg/L 以上	判定 難分解性	判定
融点*2 249~252°C (分解)	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 3.00 (フラスコ振とう法)	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 101% (汚泥+被験物質)系 99.5% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	備考
沸点			
密度 1.741 g/cm <sup>3</sup> (25°C)	解離定数 解離基なし		
LD <sub>50</sub> *2 13,720 mg/kg(oral, mouse)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 Aldrich Chemical			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 Aldrich Chemical 添付資料による。

\*2 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data による。

濃縮度試験					事業対象年度					平成16年度					濃縮度試験					濃縮度試験					
試験期間					16.10.21 ~ 16.11.9					試験期間					. . . ~ . . .					毒性試験					
試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr)魚種( )					年月日					
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )										依 類  経過					
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤			被験物質		分散剤													
第1濃度区					第1濃度区					第1濃度区															
第2濃度区					第2濃度区					第2濃度区															
第3濃度区					第3濃度区					第3濃度区															
濃縮倍率					脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )					濃縮倍率					脂質含有率 開始前 終了後 % 魚種( )										
		日後					日後					日後					日後								
第1	水槽濃度 ( )					水槽濃度 ( )					水槽濃度 ( )					水槽濃度 ( )									
	倍率					倍率					倍率					倍率									
第2	水槽濃度 ( )					水槽濃度 ( )					水槽濃度 ( )					水槽濃度 ( )									
	倍率					倍率					倍率					倍率									
第3	水槽濃度 ( )					水槽濃度 ( )					水槽濃度 ( )					水槽濃度 ( )									
	倍率					倍率					倍率					倍率									
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催															
判定結果										判定結果															
備考					分配係数から類推					備考															
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																									

整理番号 K-1597 (NEDO126, 5-1060)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸アクリル酸エステル		契約 13年 4月 6日		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
(40220-08-4)		試験期間 13.10.19~14.3.20		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮	
構造式(示性式)・物理化学的性状  <chem>CH2=HCOC(=O)CH2-CH2-N(C(=O)CH2-CH2-OC(=O)CH=CH2)-N(C(=O)CH2-CH2-OC(=O)CH=CH2)-N(C(=O)CH2-CH2-OC(=O)CH=CH2)</chem>  分子式 C <sub>18</sub> H <sub>21</sub> N <sub>3</sub> O <sub>9</sub> 分子量 423.37 組成式 C <sub>5.84</sub> H <sub>7.09</sub> N <sub>0.3</sub> O <sub>3.05</sub> (元素分析による)		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		有機物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		間接 BOD 24, 0, 12 (12)%		間接	
直接 TOC 44, 16, 49 (36)% HPLC 100, 53, 100 (84)%				直接		直接	
純度*1 79.7%	外観 白色固体	審査部会 第14回 14年 5月29日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
不純物*1 (物質名, 含有率) 分子量 369 が 11.1% 分子量 495 が 4.0% 分子量 不明 0.9 及び 4.4%	溶解度 (対水, その他) 対水 780 mg/L (25℃) 対1-オクタノール 1800 mg/L 以上 (25℃)	判定 難分解性		判定		判定	
融点*2 96~98℃	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 1.9 (HPLC法)	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% 2. 実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所 3. 特記事項 ・TODの算出は組成式で行った。 ・被験物質は試験液中で変化し、被験物質より極性が高いトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸(86, 27及び106%生成)、トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸モノアクリル酸エステル(13, 7及び0%生成)及びトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸ジアクリル酸エステル(0, 32及び0%生成)が残留した。		備考			
沸点 測定不可							
密度 1.309 g/cm <sup>3</sup> (25℃)							
LD <sub>50</sub>							
IRチャートの有無 (有)・無							
用途	解離定数 解離基なし						
生産量 (年)							
試料 購入先 Aldrich Chemical							
経済産業公報発表年月日	年 月 日						

\*1 HPLCによる。 \*2 Aldrich Chemical MSDSによる。

濃縮度試験					事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験契約					年 月 日					毒性試験	
試験期間					16.12.6 ~ 17.1.6					試験期間					~						
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )			依 頼					
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )																
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤			被験物質		分散剤			経過						
第1濃度区					第1濃度区					第1濃度区											
第2濃度区					第2濃度区					第2濃度区											
第3濃度区					第3濃度区					第3濃度区											
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率					開始前		% 魚種( )		
		終了後			%							終了後					%				
		日後			日後		日後			日後		日後			日後		日後				
第1	水槽濃度( )					第1		水槽濃度( )						第1		水槽濃度( )					
	倍率					第1		倍率						第1		倍率					
第2	水槽濃度( )					第2		水槽濃度( )						第2		水槽濃度( )					
	倍率					第2		倍率						第2		倍率					
第3	水槽濃度( )					第3		水槽濃度( )						第3		水槽濃度( )					
	倍率					第3		倍率						第3		倍率					
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催																
判定結果					判定結果																
備考					備考																
<p>分解度試験変化物はHPLC(逆相クロマトグラフィー)において本体より極性が高いため、本体の分配係数から類推</p>																					
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																					